

TG ウラゴム-I

一体型裏込混和材

TG ウラゴム-I とセメントを混和するだけで簡単に裏込材を作る事が出来ます。

TG ウラゴム-I の特徴

- 従来の標準配合と比べ数種類の材料を必要としない為置き場スペースを広く必要としません。
- 少量添加の為、作業性の向上が図れます。
- 練り上がり早く材料の分離が無い為、ポンプ圧送が良好になります。
- 地山以上の強度を早急に得ることが出来ます。
- プリージングもほとんどなく硬化後の体積変化も少ない為、空隙を確実に充填します。

配合手順

1. 200 ℓのミキサーに清水を 164 ℓ入れます。
2. TG ウラゴム-I 1袋 (10kg) をミキサーに投入し十分攪拌する。
3. 次にセメントを 100 kg 加え 5~10 分攪拌する。
4. ポンプで注入する (作液後 2 時間以内に注入を行って下さい)

用途

- 裏込材
- 中込材
- 各種充填材

性状・荷姿

- 荷姿 : 10 kg 袋
- 外観 : 灰白色粉末
- 嵩比重 : 2.5 ~ 2.6
- pH : 9.8 ~ 10.8

化学成分(%)

SiO ₂	Al ₂ O ₃	Fe ₂ O ₃	MgO	Na ₂ O	CaO	K ₂ O
60.91	22.76	3.96	2.15	2.02	0.54	0.49

(上記は測定値によるものであり、保証値ではありません。)

TG ウラゴム-I の粘性

攪拌時間	P ロート (秒)
練上直後	11±2
30 分後	11±2
60 分後	11±2
90 分後	11±2
120 分後	12±2

TG ウラゴム-I の一軸圧縮強度

材令	強度 (N/mm ²)
3 日	1.20~1.60 以上
7 日	2.20~2.60 以上
28 日	3.0 以上

配合割合

配合	水	TG ウラゴム-I	ポルトランドセメント
200 ℓ	164 ℓ	10 kg	100 kg
1 m ³	820 ℓ	50 kg	500 kg

取り扱い上の注意

- 取り扱い中は、保護メガネ、保護手袋、保護マスクを着用して下さい。
- 取り扱い後は、手洗い、うがい、洗顔を十分行って下さい。
- 袋からこぼれた場合は、粉塵が立たないように注意して回収して下さい。

保管上の注意

- 水濡れ、多湿とならない一定の場所に保管して下さい。

応急処置

- 目に入った場合は、大量の水で 15 分以上洗浄し、異常を感じた時は、医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は、簡単に吐き出せるようであれば吐き出した後、吐き出せない場合は、無理に吐き出さずに医師の診察を受けて下さい。

その他

- 記載内容は、現時点で入手できる資料や情報に基づいて作成していますが、記載データや評価に関しては、情報提供であって保証するものではありません。

テクニカ合同株式会社

(本社 西日本国際事業グループ) 〒658-0015
神戸市東灘区本山南町8丁目6番26号 東神戸センタービル12階
TEL078-436-0280 FAX078-451-0257
(東日本事業グループ) 〒170-0013
東京都豊島区東池袋3丁目9番10号 池袋FNビル1階
TEL03-6907-2566 FAX03-3985-8611
(神戸研究室) 〒652-0884
神戸市兵庫区和田山通1丁目2番25号 D棟405号
TEL・FAX078-671-1190
(大阪工場) 〒577-0067
大阪府東大阪市高井田西4丁目1番9号
TEL06-4309-7340 FAX06-4309-7341
URL : <http://www.technica-goudou.co.jp/>